

世界銀行東京事務所 エニュース 第630号 2019年1月25日 発行 <http://bit.ly/tL300Q>

<目次>

- (1) 世界銀行グループ採用プログラム情報（事前告知）
- (2) IFC東京事務所、オペレーションズ・アナリスト（パートナーシップ担当）を募集（締切：2019年2月17日）
- (3) キルギス共和国初の国家防災の日を記念し、日本の専門家が知見を共有
- (4) セミナーのお知らせ
- (5) 主なニュース

(1) 世界銀行グループ採用プログラム情報（事前告知）

世界銀行グループは、日本人を対象とした複数の採用プログラムの募集を2月に開始する予定です。ポジションの詳細や日程などは、近日中に東京事務所ウェブサイトに掲載いたします。是非ご覧ください。

(2) IFC東京事務所、オペレーションズ・アナリスト（パートナーシップ担当）を募集（締切：2019年2月17日）

国際金融公社（IFC）東京事務所では、オペレーションズ・アナリスト（コンサルタント契約）を募集しています。ビジネスニーズの変更により、以前の募集内容からTORに変更がありました。以前応募された方は再提出していただく必要はありません。

■勤務形態：Short-Term Consultant/パートタイム

最大雇用期間：応相談（当初6か月または1年間。数回以上延長可）

勤務時間：週数日程度の勤務で、最長年150日まで（応相談）

■勤務開始日：2019年4月（応相談）

■待遇：IFCの所定に基づく

■応募方法：英語CVと志望動機（カバレーター）を IFCTokyoNews@ifc.org までご送付ください。

■締切：2019年2月17日

■お問合せ：IFC東京事務所 03-3597-6657 / IFCTokyoNews@ifc.org

詳細：<http://wrlld.bg/zBaS30noT6m>（英語、PDF）

(3) キルギス共和国初の国家防災の日を記念し、日本の専門家が知見を共有

キルギス共和国は、大地震からちょうど10年にあたる2018年10月5日を国家防災の日と制定しました。この日、首都ビシュケクにて開催されたカンファレンス「防災分野における革新的アプローチ」において、世界銀行東京防災ハブの支援を通じ、日本の専門家が防災レジリエンスの向上に関して、日本の経験を踏まえた知見について講演を行いました。

イベント：<http://wrlld.bg/m3vV30nrtUX>

(4) セミナーのお知らせ

■開発のための情報・コミュニケーション2018：データ主導型開発
世界銀行モーニングセミナー（第24回）

日時：2019年1月29日（火）午前7時45分～8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：データ主導型開発をテーマに、より良い情報がより良い政策を生み出すという点にフォーカスを当て、途上国の民間企業や政府が保有する様々なデータをサービスリバーや意思決定に活用する方法や、個人データを個人がよりコントロールできるよう人々に対するエンパワーメントについて検討した報告書「開発のための情報・コミュニケーション2018：データ主導型開発」（Information and Communications for Development 2018: Data-Driven Development）の執筆編集チームを主導したティム・ケリー 世界銀行ナイロビ事務所主任ICT政策専門官が、ワシントンよりテレビ会議で同報告書の主なポイントをご紹介します、皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/OHe030nfUWe>

■よみがえる東アジア：世界的な変化の中での方向性
世界銀行セミナー

日時：2019年2月4日（月）午後4時30分～6時

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：2018年12月10日発表の新報告書「よみがえる東アジア：世界的な変化の中での方向性」（A Resurgent East Asia, Navigating a Changing World）の2名の共著者であるスティーブ・シェッティ世界銀行東アジア・太平洋地域担当チーフエコノミストとアンドリュー・メイソン同リードエコノミスト（チーフエコノミスト代行）の来日にあたり、新報告書の主なポイントをご紹介します。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/2Lgb30nrtpz>

■貧困と繁栄の共有2018：貧困パズルを組み立てる
世界銀行モーニングセミナー（第25回）

日時：2019年2月6日（水）午前7時45分～8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：2018年10月発表の報告書「貧困と繁栄の共有2018：貧困パズルを組み立てる」（Poverty and Shared Prosperity 2018: Piecing Together the Poverty Puzzle）の執筆チームを主導したディーン・ジョリア世界銀行開発経済総局（DEC）開発データグループ主任エコノミストが、ワシントンよりテレビ会議で同報告書の主なポイントをご紹介します、皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/eFGI30nmeov>

■開発と気候変動対策のための財政政策
世界銀行モーニングセミナー（第26回）

日時：2019年2月12日（火）午前7時45分～8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：新報告書「開発と気候変動対策のための財政政策」（Fiscal Policies for Development and Climate Action）の編者として執筆担当チームを主導したミア・ピガート世界銀行マクロ経済・貿易・投資グローバルプラクティス主任エコノミスト兼気候変動リードが、ワシントンよりテレビ会議で新報告書の主なポイントをご紹介します、皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/LU6f30nmeET>

(5) 主なニュース

■南アフリカ：高等教育改革に期待される機会の平等と成長促進

世界銀行の南アフリカ経済報告では、同国の経済は2019年に1.3%、2020年には1.7%に加速すると予測しています。同国が持続可能な成長を遂げるに

は、機会の不平等と政策の不確実性への対処が必要だとし、高等教育セクターでの入学率および卒業率を上げ、労働市場の需要を満たすスキルを向上させることが重要だと述べています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/dZPi30nqJNb>（英語）

報告書：<http://wrlld.bg/KAvY30nrvc>（英語）

■ガボン：若者の起業家精神を加速

ガボン共和国では、原油価格の下落に関わる危機以降失業率が上昇し、若者が雇用市場減速の犠牲者となっています。世界銀行は、資金提供している投資促進・競争力プロジェクト（PPIC）を通じ、ビジネス環境の改善、投資の促進、民間セクターの開発を目指し、企業登録手続きの合理化や中小企業運用の簡易化を図ります。

特集：<http://wrlld.bg/3aCd30nqJNl>（英語）

■スリランカと世界銀行、医療サービスの改善に協力

スリランカと世界銀行は、23日、スリランカのプライマリ・ヘルスケアサービスの利用と質を高めるために2億ドルの融資契約を締結しました。このプロジェクトは、同国の最も脆弱な人々を対象とし、プライマリ・ヘルスケアサービスの質の改善、非感染性疾患の検出および管理や、高齢化人口の増加による保健ニーズへの対応を目的としています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/RsAv30nqJNx>（英語）

■ブータン：若者の雇用創出と農村ビジネスの促進

世界銀行とブータン王国政府は、23日、ブータンの若者の雇用創出と同国における経済的多様化の幅広い促進を支援するプロジェクトに署名しました。日本社会開発基金（JSDF）が125万ドルの資金を提供するこの新しいプロジェクトにより、農村の企業開発とバリューチェーン構築が後押しされ、雇用機会が生まれ、農村地域の収入向上が見込まれます

プレスリリース：<http://wrlld.bg/MIC330nqJNJ>（英語）

■ベトナム：民間資本が将来のエネルギー開発のカギ

世界銀行グループの報告書では、ベトナムのマクロ経済やエネルギーセクターの状況を変えるには、電力とガスへの投資に資金投入するための新しいアプローチが必要であると、民間部門からの新たな資金源の開拓方法についての行動計画を提示しています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/S2Hq30nqJNS>（英語）

報告書：<http://wrlld.bg/lB6930nrvsz>（英語）

世界銀行東京事務所

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695 <http://bit.ly/uclAmw>

世界銀行東京事務所ツイッター <http://bit.ly/v4XlyH>

世界銀行東京事務所フェイスブックページ <http://on.fb.me/rWkJWi>

世界銀行東京事務所インスタグラム <http://instagram.com/worldbanktokyo>

【世界銀行東京事務所 エニュース 629号】世界銀行グループ、気候変動への適応と強靱化に5年間で500億ドルの支援を発表、他

世界銀行東京事務所 エニュース 第629号 2019年1月18日 発行 <http://bit.ly/tL300Q>

<目次>

- (1) 世界銀行グループ、気候変動への適応と強靱化に5年間で500億ドルの支援を発表
- (2) 世界銀行グループ採用プログラム情報（事前告知）
- (3) セミナーのお知らせ
- (4) 主なニュース

- (1) 世界銀行グループ、気候変動への適応と強靱化に5年間で500億ドルの支援を発表

世界銀行グループは15日、気候変動への適応策のための直接的資金支援を2021～25年度の期間に500億ドルまで増やすことを掲げた「気候変動への適応と強靱化に関する行動計画」を発表しました。同計画は、昨年12月にポーランドで開催された国連気候変動枠組条約第24回締約国会議（COP24）の場で世界銀行グループが発表した「気候変動対策強化のための2025目標」の一部です。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/AmbG30nmeKl>

気候変動への適応と強靱化に関する行動計画：<http://wrlld.bg/CL2c30nmeN8>（英語、PDF）

- (2) 世界銀行グループ採用プログラム情報（事前告知）

世界銀行グループは、日本人を対象とした複数の採用プログラムの募集を2月に開始する予定です。ポジションの詳細や日程などは、近日中に東京事務所ウェブサイトに掲載いたします。是非ご覧ください。

- (3) セミナーのお知らせ

■知らないと知られていることからブラックスワンへ：ラテンアメリカ・カリブ海地域のリスクをどう管理するか
世界銀行モーニングセミナー（第23回）

日時：2019年1月24日（木）午前7時45分～8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：ラテンアメリカ・カリブ海地域総局が10月5日に発表した、地域内の経済概況と展望をまとめた半期経済報告「知らないと知られていることからブラックスワンへ：ラテンアメリカ・カリブ海地域のリスクをどう管理するか」(From Known Unknown to Black Swans: How to Manage Risk in Latin America and the Caribbean) の執筆チームのダニエル・リエラー・クライトン世界銀行ラテンアメリカ・カリブ海地域総局チーフエコノミスト室リサーチエコノミストが、テレビ会議でワシントンより同報告書の主なポイントをご紹介します。皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/wOZS30nfUUP>

■開発のための情報・コミュニケーション2018：データ主導型開発
世界銀行モーニングセミナー（第24回）

日時：2019年1月29日（火）午前7時45分～8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：データ主導型開発をテーマに、より良い情報がより良い政策を生み出すという点にフォーカスを当て、途上国の民間企業や政府が保有する様々なデータをサービスリバーや意思決定に活用する方法や、個人データを個人がよりコントロールできるよう人々に対するエンパワーメントについて検討した報告書「開発のための情報・コミュニケーション2018：データ主導型開発」(Information and Communications for Development 2018: Data-Driven Development) の執筆編集チームを主導したティム・ケリー 世界銀行ナイロビ事務所主任ICT政策専門官が、ワシントンよりテレビ会議で同報告書の主なポイントをご紹介します、皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/OHe030nfUWe>

■ 貧困と繁栄の共有2018：貧困パズルを組み立てる
世界銀行モーニングセミナー（第25回）

日時：2019年2月6日（水）午前7時45分～8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：2018年10月発表の報告書「貧困と繁栄の共有2018：貧困パズルを組み立てる」(Poverty and Shared Prosperity 2018: Piecing Together the Poverty Puzzle) の執筆チームを主導したディーン・ジョリフ世界銀行開発経済総局（DEC）開発データグループ主任エコノミストが、ワシントンよりテレビ会議で同報告書の主なポイントをご紹介します、皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/eFGI30nmeov>

■ 開発と気候変動対策のための財政政策
世界銀行モーニングセミナー（第26回）

日時：2019年2月12日（火）午前7時45分～8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：新報告書「開発と気候変動対策のための財政政策」(Fiscal Policies for Development and Climate Action) の編者として執筆担当チームを主導したミア・ピガート世界銀行マクロ経済・貿易・投資グローバルプラクティス主任エコノミスト兼気候変動リードが、ワシントンよりテレビ会議で新報告書の主なポイントをご紹介します、皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/LU6f30nmeET>

(4) 主なニュース

■ ギニア：若者のイノベーションと起業家精神を促進

ギニアでは学位を持っている若者の60%以上が失業していると推定されています。世界銀行からの2,000万ドルの資金を受けたステップアップ・スキルズ・プロジェクトは、起業の夢を持つビジネスプランコンテストの受賞者に農業、保健、エネルギーなどの分野でのスキルを育成・獲得するプログラムを通して、ギニアの若者の雇用可能性と雇用の成果を促進させることを目指しています。これまでに1万8,000人の職業訓練生および2,800人を超える高学歴の失業者を含む2万人以上が、このプロジェクトの恩恵を受けています。

特集：<http://wrlld.bg/q0oK30nmfju>（英語）

■ ジンバブエ：妊婦のための無料保健サービス利用改善プログラム

ジンバブエの農村部では25ドルの登録料を払う余裕がないという理由で、多くの妊娠中の女性が定期的に診察を受けることができませんでした。世界銀行マルチドナーのグローバル・ファイナンス・ファシリティ（GFF）が資金援助するアーバン・パウチャー・プログラム（UVP）は、世帯の下層部40%の母親を対象としており、無料の保健サービスの利用と介助出産を促進しています。

特集：<http://wrlld.bg/T16d30nmfol>（英語）

■ リベリア：民間セクター投資による生産性向上と商業化促進のための新しい農業プロジェクト

世界銀行理事会は15日、リベリアの農業変革とアグリビジネスの活性化を目的としたプロジェクトに2,500万ドルの国際開発協会（IDA）融資を承認しました。このプロジェクトの1万7,500人の小規模農家（うち30%が女性農民）直接受益者には、生産性の向上と生産品販売のための市場へのアクセス改善による収入の増加が見込まれます。

プレスリリース：<http://wrlid.bg/824D30nmgmF>（英語）

■インド：シムラー市の水不足を解消

世界銀行理事会は16日、シムラー市地域の水供給と衛生サービスの改善を目的とした4,000万ドルの融資を承認しました。世界銀行はヒマーチャル・プラデーシュ州政府を通じ、過去数年にわたり深刻な水不足と水系感染症の流行を経験してきた同地域の市民に、衛生で信頼できる飲料水を提供できるよう支援します。

プレスリリース：<http://wrlid.bg/r6tV30nmbWe>（英語）

■アフリカの科学者によるアフリカへの取り組み

世界銀行アフリカン・センター・オブ・エクセレンス・プロジェクトは、化学工学、農学、科学、技術などの需要が高い分野で学位を持っている若者を訓練し、アフリカ経済を後押しし、雇用を創出し、基幹的な研究を支援しています。同センターは、2014年に国際開発協会（IDA）から1億6,500万ドルの融資を受け、ベナン、ブルキナファソ、カメルーン、コートジボワール、ガンビア、ガーナ、ナイジェリア、セネガル、トーゴがアフリカの開発の加速に必要なスキルを向上させるために設立されました。

特集：<http://wrlid.bg/yOUq30nmhFR>（英語）

世界銀行東京事務所

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695 <http://bit.ly/uclAmw>

世界銀行東京事務所ツイッター <http://bit.ly/v4XlyH>

世界銀行東京事務所フェイスブックページ <http://on.fb.me/rWkJWi>

世界銀行東京事務所インスタグラム <http://instagram.com/worldbanktokyo>

世界銀行東京事務所 エニュース 第628号 2019年1月11日 発行 <http://bit.ly/tL300Q>

<目次>

- (1) 報告書：世界経済見通し（GEP）2019年1月版
- (2) 世界銀行グループとフィナンシャル・タイムズ、高校生を対象としたブログコンテストを開催
- (3) 岡三証券がサステナブル・ディベロップメント・ボンドを販売
- (4) 世界銀行グループ、キム総裁の2月1日付退任を発表
- (5) セミナーのお知らせ
- (6) 主なニュース

- (1) 報告書：世界経済見通し（GEP）2019年1月版

世界銀行は8日、今後の展望の下振れリスクが高まる中、世界経済の成長は2018年の下方修正予測である3%から、2019年は2.9%へと緩やかに減速するだろうとの見通しを発表しました。インフォーマル・セクターが雇用の約70%、GDPの30%を占める新興国・途上国では、フォーマル・インフォーマル双方のセクター統合に向けた、税・規制面の負担軽減、金融アクセス改善、教育と公共サービスの改善、公的収入枠組みの整備が課題だと分析しています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/OkSG30nfUly>

世界経済見通し（GEP）ウェブサイト：<http://wrlld.bg/zFWQ30nfUmK>

- (2) 世界銀行グループとフィナンシャル・タイムズ、高校生を対象としたブログコンテストを開催

テクノロジーによる世界の急激な変化の中、将来どのような仕事が登場し、どのような仕事に就き、そのためにはどのような教育が必要でしょうか。

未来のリーダーたちの創造力を生かしたオリジナリティに溢れるアイデアを募集しています。

受賞作品は、フィナンシャル・タイムズ紙と世界銀行のブログで発表され、また受賞者は、2019年4月にワシントンDCで開催される世界銀行・IMF春季会合に参加することができます。

ブログ：<http://wrlld.bg/8yG130nfUsj>

応募締切：2019年1月31日

コンテストへの参加・応募：<http://ow.ly/ObB530necQp>（英語）

- (3) 世界銀行グループ、キム総裁の2月1日付退任を発表

ジム・ヨン・キム 世界銀行グループ総裁は、2月1日付で世界銀行グループの総裁を退任することを発表しました。キム世界銀行グループ総裁の6年以上にわたる在任中、出資国は、世界銀行グループがグローバルな開発課題に取り組む上で強力なリーダーシップを維持できるよう複数のイニシアティブに多大な支援を行いました。また、2012年に掲げられた「2030年までの極度の貧困撲滅」と「繁栄の共有の促進」の2大目標は現在、同グループの指針として世界各地での日々の業務を支えています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/hY2G30nfV8f>

(4) 岡三証券がサステナブル・ディベロップメント・ボンドを販売

世界銀行（国際復興開発銀行：IBRD）はこの度、国内の個人投資家向けにメキシコペソ建てサステナブル・ディベロップメントボンド(世銀債) を発行します。今回発行するサステナブル・ディベロップメントボンドは期間3年、発行額：5億25百万メキシコペソで、岡三証券株式会社が販売しています。

プレスリリース：<http://wrlid.bg/soQl30ngLq8>

(5) セミナーのお知らせ

■生産性を再考する：分析と政策のパラダイム変化 世界銀行セミナー

日時：2019年1月15日（火）午後4時30分～午後6時

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：昨年10月に発表された新報告書「生産性を再考する：分析と政策のパラダイム変化」(Productivity Revisited: Shifting Paradigms in Analysis and Policy) の共著者であるウィリアム・マローニ世界銀行公正成長・金融・制度 (EFI) 担当チーフエコノミスト来日の機会を捉え、同報告書の概要をご紹介するセミナーを開催します。使用言語は英語・日本語（同時通訳付き）です。ぜひご参加ください。

詳細・お申込み：<http://wrlid.bg/jmXZ30nfUPm>

■知らないと知られていることからブラックスワンへ：ラテンアメリカ・カリブ海地域のリスクをどう管理するか 世界銀行モーニングセミナー（第23回）

日時：2019年1月24日（木）午前7時45分～8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：ラテンアメリカ・カリブ海地域総局が10月5日に発表した、地域内の経済概況と展望をまとめた半期経済報告「知らないと知られていることからブラックスワンへ：ラテンアメリカ・カリブ海地域のリスクをどう管理するか」(From Known Unknown to Black Swans: How to Manage Risk in Latin America and the Caribbean) の執筆チームのダニエル・リエラークライトン世界銀行ラテンアメリカ・カリブ海地域総局チーフエコノミスト室リサーチエコノミストが、テレビ会議でワシントンより同報告書の主なポイントをご紹介し、皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlid.bg/wOZS30nfUUP>

■開発のための情報・コミュニケーション2018：データ主導型開発 世界銀行モーニングセミナー（第24回）

日時：2019年1月29日（火）午前7時45分～8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：データ主導型開発をテーマに、より良い情報がより良い政策を生み出すという点にフォーカスを当て、途上国の民間企業や政府が保有する様々なデータをサービスデリバリーや意思決定に活用する方法や、個人データを個人がよりコントロールできるよう人々に対するエンパワーメントについて検討した報告書「開発のための情報・コミュニケーション2018：データ主導型開発」(Information and Communications for Development 2018: Data-Driven Development) の執筆編集チームを主導したティム・グリー 世界銀行ナイロビ事務所主任ICT政策専門官が、ワシントンよりテレビ会議で同報告書の主なポイントをご紹介し、皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlid.bg/OHe030nfUWe>

(6) 主なニュース

■ルワンダ：革新的な調理用コンロで環境保全

薪や木炭による調理は健康や環境に深刻な影響を与えています。ルワンダの企業が世界銀行の「開発のための炭素イニシアティブ（CiDev）」の支援を受け、クリーンで環境にやさしい超低燃費のガスコンロを無料でリースし、ルワンダで製造された持続可能なバイオマス燃料ペレットを組み合わせることにより、この課題を逆手にとりました。この企業の顧客ベースはCi-Devとの契約が締結以降、提供世帯数が2倍以上に増え、2019年末までに2万5,000世帯にペレットが届く予定です。

特集：<http://wrlld.bg/kBWS30ng0aw>（英語）

■バングラデシュ：包括的で質の高い雇用の支援

バングラデシュ政府は1月9日、包括的で質の高い雇用創出に向けた重要な課題に取り組むための改革を支援するために、国際開発協会（IDA）を通じ2億5,000万ドルの開発政策を締結しました。これにより、政府による貿易の近代化、投資の促進、労働者の社会的保護システムの強化や、脆弱な人々の雇用促進が見込まれます。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/avYK30nfUou>（英語）

■アフガニスタン：家庭菜園で収入を育む女性たち

国立園芸・畜産プロジェクト（NHLP）が取り組みを支援するパンジシール州の家庭菜園プログラムは、収入のないアフガニスタンの女性たちの自立を支援し、その家族をサポートしています。アフガニスタンの園芸製品の生産と生産性向上を目的とした同プロジェクトは、世界銀行が管理するアフガニスタン復興信託基金（ARTF）を通じた1億9,000万ドルの資金により支えられています。

特集：<http://wrlld.bg/uVWR30nfUoE>（英語）

世界銀行東京事務所

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695 <http://bit.ly/uclAmw>

世界銀行東京事務所ツイッター <http://bit.ly/v4XlyH>

世界銀行東京事務所フェイスブックページ <http://on.fb.me/rWkJWi>

世界銀行東京事務所インスタグラム <http://instagram.com/worldbanktokyo>